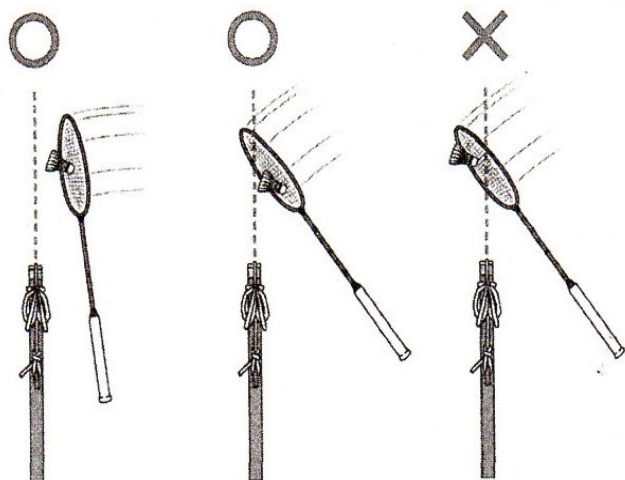


公認審判員の会報誌 15

文責 小藏 力



▲シャトルとラケットの打点が打者側にある

▲シャトルが自陣にあるが、ラケットの一部がネットを越えている
※以前はラケットがネットを越えた時点でフォルトの対象

▲シャトルがネットを完全に越えておらず、ラケットはネットを越えている

2022・2023・2024・2025 競技規則 2023・2024 年度準3級教本

2023年度から変更されたルール？

通称「オーバーザ・ネット」の解釈が変わりました。以前は、真ん中も「フォルト」でしたが、シャトルの打点が打者側にあれば、ラケットを越えてもフォルトにならないと解釈が変更になりました。

全ての、スピンスーブが禁止ではないです。コルクをカットする打ち方はOK
通称デコピンスーブと呼ばれるシャトルを打つ瞬間に指で回転をかけるサーブは禁止になりました。
(パリオリまで)

昨年度のレフェリー業務は秋田市で行われたS/Jリーグ開幕戦でした。

秋田は3回目で顔と名前が一致する方が何名もいました。秋田マスターズで国際大会を経験している秋田県協会の審判員たち、その時タブレット操作を経験したことがあるので、バードスコアでのタブレット操作も、トラブルはほとんどありませんでした。

素晴らしかったのは、団体戦なので試合が始まる前と第1・2試合が終わった時の交代する審判員たちの入退場（テクニカルオフィシャルズのコートイン・アウト）や線審の着席、起立のタイミング、ラリー中の手の位置、が素晴らしかったです。



CONGRATULATIONS UMPIRE UPGRADE

昨年は、苫小牧地区から3名方が2級審判員に挑戦し見事に合格し、3級も4名、準3級も中学生2名合格しました。

今年も、今のところすでに3級希望者7名の方が、検定を予約しております。まだ席がありますので、まだ、空席が若干ありますので、申し込んでください。また、3級所持者は、この機会に2級アップグレードしてはどうでしょうか？

また、3級を希望される方は、事前に教本で勉強される事をお勧めします。特に、ベースボールマガジン社発行「おぼえよう バドミントンのルール」上田敏之著の本を参考にされてはどうでしょうか？

私もお勧めします。